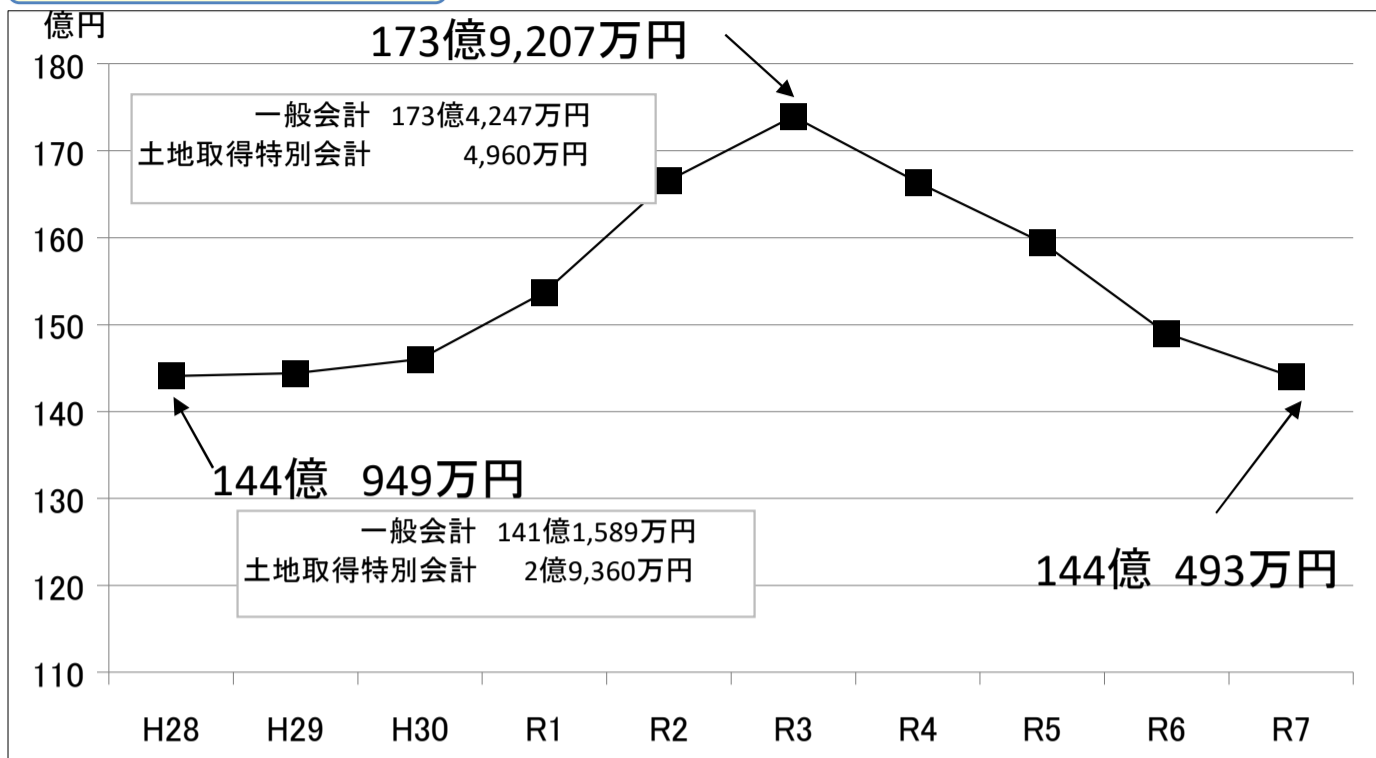


グラフで見る財政

町の借金額

町債残高の推移（一般会計＋土地取得特別会計^{※R4廃止}）



令和7年度は、新図書館建設工事や槻木五間堀改修工事などに着手するにあたり、その財源として町債の借入を予定しています。

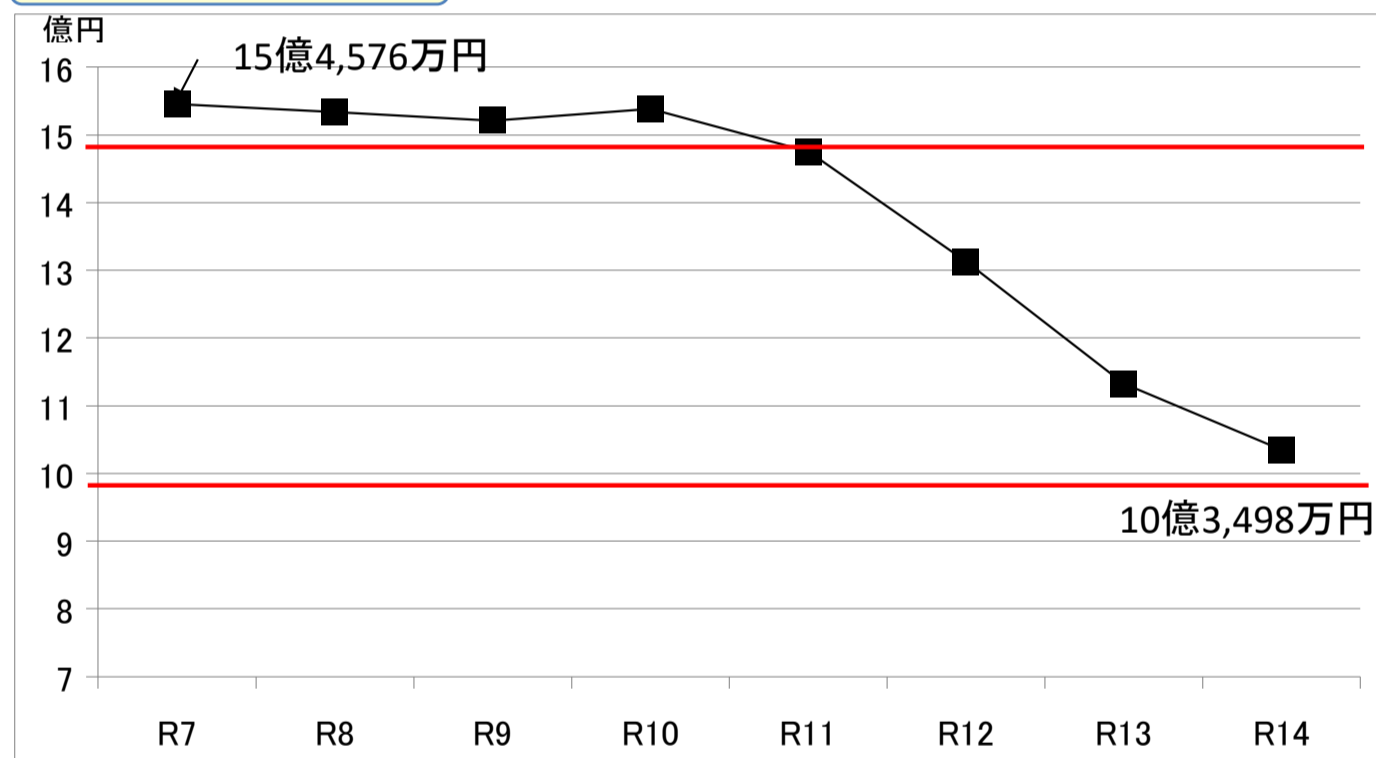
町債残高約144億円のうち、後年度に交付税措置される臨時財政対策債が約45億4千万円となっております。

このため、建設事業に係る実質的な借入額の残高は約99億円です。

※令和7年度末残高は見込み額であり、今後事業の年度繰越等により変動します。

町の返済額

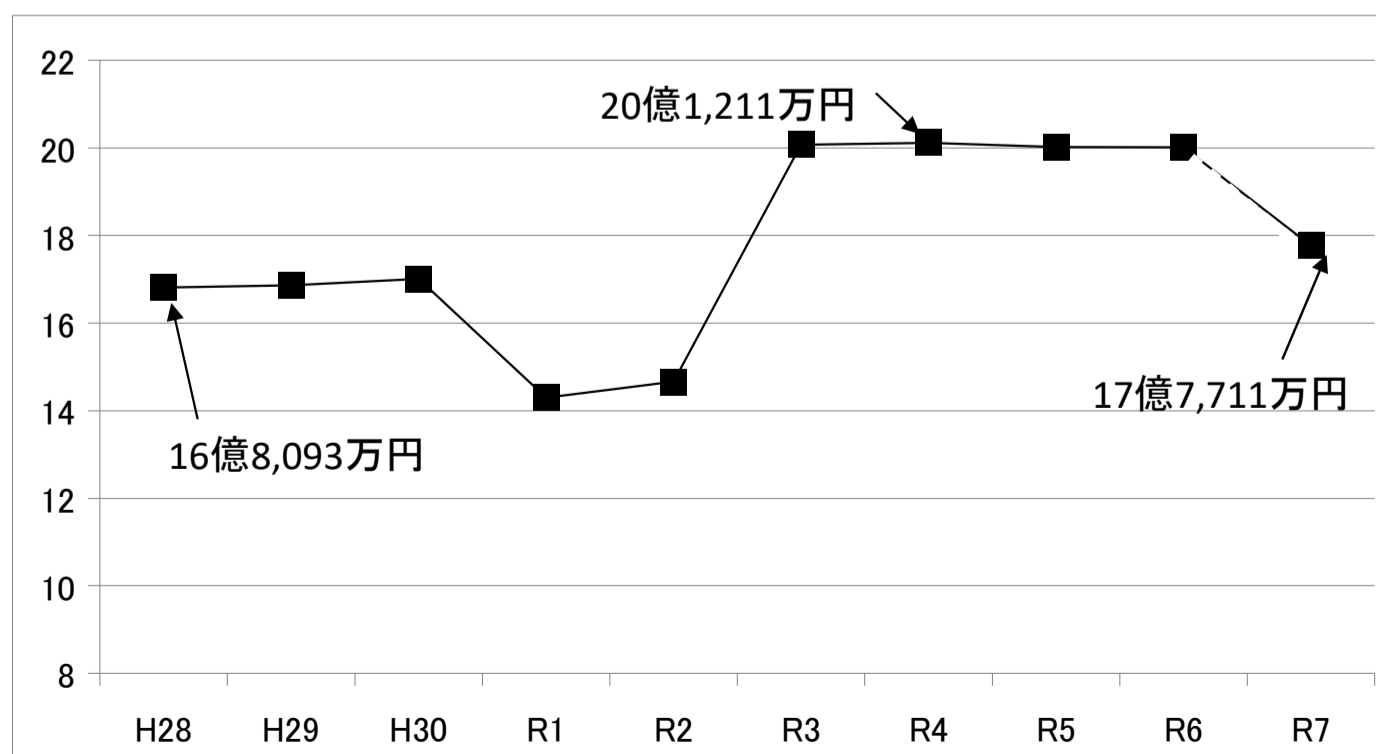
公債費の見込み（一般会計）



令和6年度までに発行した町債と令和7年度に発行予定の町債の返済額の見込みであり、令和8年度以降に発行する町債の返済額は含まれておりません。大型事業の実施に伴う上昇が今後見込まれております。

町の貯金額

基金残高の推移（財政調整基金＋町債等管理基金）



(1) 令和7年度は、物価の高騰や労務単価の上昇により増加した各施設の管理委託料や公債費等に充てるため、財政調整基金を4億1,789万円取り崩しております。

(2) 今年度末時点の財政調整基金等の残高は、約17億7,711万円を見込んでいます。